

Rotary



よいことの
ために手を
取りあおう

国際ロータリー第2610地区

南砺ロータリークラブ

クラブ会報

な ん と



NO. 2692

URL <http://www.nanto-rc.jp>

E-mail office@nanto-rc.jp

例会日/火曜日 12:30点鐘 例会場/福光会館2Fサクルルーム1 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 〆〆〆光福 〆 0763-53-1333 〆 53-1334

福野調整槽



谷村修基会員撮影

第2753回例会 令和7年12月2日(火) 晴 16℃

- ◆ 点 鐘 12:30 石崎和三会長
- ◆ 司 会 安居利浩SAA
- ◆ 国 歌「君ヶ代」ソング「四つのテスト」



◆ 会長の時間 石崎和三会長

2日前。第2610地区クラブサポートミーティングがありました。会長、幹事。90人近くの参加がありました。

この中での話では、向こう三年徹底して、会長、幹事は教育を受けてくださいということです。早速帰ってきてから、尾山さんに「来年から凄いらしいですよ」と。やっぱり勉強した方がいいですよ。1時半から夕方5時半近くまで研修がありました。研修、私嫌いな方ですが、凄く楽しかったんですよ。

サブタイトルが「もっと元気なクラブになろう」でした。恐らく会員が増えてるところとそうじゃないところがある中で、衛星クラブが高岡北ルミナスRC、小矢部未来RCにできたことで、鼻息が荒いような感じがしたが、本チャンの会員を募れないから、そういうふうにいるのかなと思いました。だから衛星クラブもいいんですが、やっぱり年会費を払って戴ける会員さんを集めていった方がいいのかなと思います。そういうことで、今日入会されて、例会場に来られました。この方がうちに来るっていうと近所のクラブが「やられた」と言っていました。

◆ 理事会・幹事報告 野村 守幹事

- 1月6日、理事会、例会の後にみや川で新年懇親会を行います。個人負担を、8,000円とさせて戴きます
- 26 - 27年度の地区役員でロータリー財団を引き続き安居利浩君、インターアクトを高瀬和紀君に受けて戴きました。
- 3クラブ懇親会は2月16日(月)、「深松」に決定致しました。
- 11月29日に吉田美花君、藤井君、大島君、安居君が行かれたRLI、とっても良かったということでした。
- 富士見RCから50周年の記念誌が届いております。昨年の12月の式典に出席した久患前会長の祝辞が掲載されております。

★ 12月の誕生日祝

8日井沢正生君 14日船藤幸生君
15日中田裕二君

★ 12月の結婚記念日祝

9日井沢正生君 12日山田清志君



本日のプログラム 12月9日(火) 第2754回例会
ローターアクトセミナー

担当 RA委員会 水口秀治委員長

新会員の紹介

* 宅見公志 (たくみこうじ) 君 職業分類: 放送・通信サービス



“となみ衛星通信テレビ株式会社” 代表取締役社長
事業所住所: 南砺市八塚568-2 ☎ 0763-22-7600(代)
生年月日: 1977(昭46)年1月27日(48才)
推薦者: 石崎和三君 川合声一君

《宅見公志君挨拶》となみ衛星通信テレビの代表取締役をさせていただいており、皆様には恐らく全ての方がお客様として、お世話になっております。本当に有難うございます。岡部一輝さんがガバナー返させて戴いているということで、いろんな話を私も22年間お仕えしてありましたので、聞いておりました。残念ながら5月に逝去されまして、まさか私が岡部さんの志を引き継いで、皆さんと共にこの南砺RCの一員として、「良いことのために手を取り合おう」とか、このあたりの思想とか考え方とか、皆さんの素晴らしい行動から学ばせて戴ければと思います。改めまして、どうぞよろしくお願いいたします。

◆委員会報告

* RLI 報告 安居利浩会員

土曜日にRLI、パートIIのセミナーを受けてきました。正直言って楽しかったという印象しかないんですが、全部で6項目の勉強会をやりました。「米山」から始まり「財団」、そして「どうやって会員を入れるか」とか、そういうワークショップ形式でやったのですが、いろんなところから若い人が来るのかなと思ってたら、例えば小矢部中RCの会長さんとか、結構年数の多い方が多かったと思います。いろいろ勉強させて貰いながら、特に「財団」の時は、私は地区の委員として挙がっているものですから、「当然知っていますよね」っていう振りばかり来て、答えられなかったのが非常に悔しかった。委員長にはごめんなさいという話をしておきました。

★ ニコニコボックス 12/2 本田 敏委員長

井沢君 誕生日祝、結婚記念日の祝有難うございました。88才になります。

船藤君 誕生日祝ありがとう。

山田清君 結婚記念ありがとうございます。25年となりました。

石崎和君 宅見さん、いらっしやい。新入会員です。

古瀬君 今日は卓話当番。頑張ります。宅見さんよろしくお願いします。

木村君 宅見さんの入会ありがとうございます。古瀬さんの居酒屋オープン!おめでとうございます。

吉田実君 宅見さんようこそ。

本田君 宅見さん、よろしくお願いします。古瀬さんおめでとうございます。

尾山君 古瀬さん卓話宜しくお願いします。松風樓オープンおめでとうございます。マイナンバーカード更新して来ました。

鮫島君 宅見さん、よろしくお願いします。

野村君 宅見さん、入会おめでとうございます。古瀬さんの卓話楽しみです。

藤井君 RLIに行ってきた。大島さんと3回同じ班になった方が、「大島さんはすごい!」と絶賛しておられました。

木勢君 師走になりました。今日は快晴で最高の日になりました。忙しさを楽しみましょう。

◆出席報告

吉田実社会奉仕委員長

会員数	12月2日出席率	11月11日修正率
45 (免除1)	71.11% (出32)	77.27% (出34メーク3)

※特別: 大島孝君、古瀬喜八郎君、吉田美花君。

次回の予定

12月16日(火)

第2755回例会

卓話

担当

川合声一会員

四つのテスト
言行はこれに照らして

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



今日は少し生意気なんです、ロータリーができるまで、どうしてロータリーが生まれたのか、皆さんともう一度再勉強していきたいと思っています。「そんな知ってるわ。1905年にポール・ハリスが作ったがやる」と言われるかもしれませんが、歴史探訪などでもやってきた話を、もう一度整理して振り返りたいと思います。

先日、金沢の卯辰山で「ミニミニ源流の会」がありまして、九州から7、8名、東京、横浜、高知など全国から20名ほど集まりまして、食事しながら話をしていました。その中でもロータリーに関わる興味深い話題が出ましたので、今日はそのあたりも共有したいと思います。

例会でも触れましたが、「4つのテスト」。ハーバート・テイラーが最初は20数個あったものを4つまで絞り

1932年ハーバート・テイラー発表

4つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実かどうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるかどうか

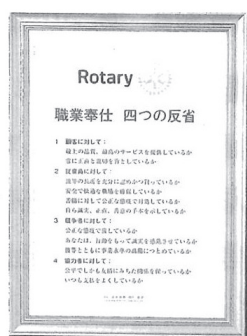


The Four-Way Testは「岐路に立った際の道標」

込んだものですね。「真実かどうか」「みんなに公平か」「好意と友情を深めるか」「みんなのためになるか」。人が岐路に立ったとき立ち返る基準であり、職業奉仕の根本だと思います。

職業奉仕 四つの反省

1. 顧客に対して：
最上の品質、最高のサービスを提供しているか
常に正直と親切を旨としているか
2. 従業員に対して：
彼等の長所を充分に認め、かつ買っているか
安全で快適な職場を確保しているか
苦情に対して公平な態度で対処しているか
彼等に対し、正直、善意の手本を示しているか
3. 競争者に対して：
公正な態度で接しているか
あなたは、行動をもって誠実を感銘させているか
彼等とともに事業水準の高揚につとめているか
4. 協力者に対して：
公正でしかも友情にみちた関係を保っているか
いつも支払をよくしているか



職業奉仕の「4つの反省」もあります。顧客に対して最上の品質とサービスを提供しているか。従業員の長所を認め、安全な職場を作っているか。競争相手に対して誠実か。協力者と公正で友情ある関係を保ち、支払いもきちんとしているか。こうした考え方をまとめた冊子がオクトンで販売されています。

さて、20世紀初頭のシカゴですが、これがまたすごい時代でした。1848年の運河開通で五大湖とミシシッピ川が結ばれ、水運の要となった。そこに20以上の鉄道会社が集まり、鉄道の十字路、物流の大拠点となって人口が爆発的に増えた。産業は伸び続ける一方で、裏社会はマフィア抗争、禁酒法、密造酒で血なまぐさい時代。労働者は長時間労働と低賃金に苦しみ、ヘイマーケット事件

のように大規模な衝突も起きた。

南北戦争後も黒人差別は続き、害虫ボーウィルの大発生、1930年のダストボウルで農業が壊滅し、多くの黒人や農民が仕事と生活を求めて北部都市へ移住。これが「グレート・マイグレーション」。シカゴは民族も宗教も多様化し、プロテスタントとカトリック移民の対立、労働運動の高まりなど、都市全体が揺れるような環境でした。

■第1回の例会 1905年2月23日



ポール・ハリス(弁護士)
ハイラム・ショレー(洋服生地商)
シルベスター・シール(石炭商)
ガスターバス・ローア(鉱山技師)

*後に良質な職業人(事業の経営者、法律家、医師、宗教家など)を加えることにし定期的に会合を開き、お互いのビジネスを伸ばすことを考えた。
お互いの会社の利益のため、そして仕事の取り合いを防ぐため1業種1人とする原則を作った。・・・結果として入会以後、裕福な人が増えた。
会員の事業の発展を目指すことが、明記された団体となった。

こうした混乱の中で1905年、ポール・ハリス、ショレー、シール、ローアらが「取引と情報交換をする誠実な事業主の集まりをつくろう」とロータリーを創設。最初は一業種一人でお互いのビジネス発展を図る、いわば互助的なクラブでした。例会も会員の事業所を持ち回りでを行い、後にレストラン、ホテルへと場所が定まり、昼食をとる文化も生まれていった。1週1回出席、4回休むと退会という厳しい規則もありました。

1906年には定款制定、会場監督(SAA)の役割が作られ、組織として整い始めました。その頃、象徴的な出来事が起きました。弁護士ドナルド・カーターが入会を勧められた際、「自分たちの利益しか考えていないクラブなら入らない」と拒否したのです。これが大きなショックとなり、

ドナルドカーターの入会拒否事件(1906年)



この入会拒否事件はシカゴ・クラブに少なからぬショックを与えました。しかし、物質的互惠と親睦にのみ終始することに限界を感じ、次の段階へのステップ・アップを考えていたポール・ハリスは、この事件を絶好のチャンスと捉えて、直ちに、ロータリーの在り方を転換することを決断し、定款を改正することを条件にドナルド・カーターに再考を促し、その後快くドナルドカーターは入会を了承しました。

ポール・ハリスは「ロータリーのあり方を転換せねばならない」と決断。定款を改正し、社会に役立つ活動を進める方向へ舵を切り、カーターも再び入会を了承。この入会拒否事件がロータリーの精神を方向転換させた大きな転機となりました。翌年から社会貢献活動が始まり、1934年には「社会奉仕活動」と訳されるようになった。見返りを求めず社会に尽くすというロータリーの根本理念につながる部分です。ロータリーは地域社会(コミュニティ)への貢献を重視し、アメリカでは電話ボックスや公衆トイレの設置など、市民生活に直接役立つ活動を行ってきた。

我々も、地域社会に貢献しながら、ロータリーの精神をしっかりと受け継いで活動していきたいと思っています。

(今回の会報担当: 藤井一哉/AIIによる要約)